

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月09日

計画の名称	湯河原町における安心・安全な下水道事業（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	湯河原町												
計画の目標	下水道施設の老朽化対策及び地震対策を実施することにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	813	A	808	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.61	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R03当初	R05末	R07末
1	ストックマネジメント計画（R03～R07）に基づく処理場等の改築目標の達成率を、100%とする。 ストックマネジメント計画に基づく施設・設備等の改築達成率 改築済み施設・設備数（箇所） / スtockマネジメント計画に基づく改築予定施設・設備数（11箇所）	0%	90%	100%
2	処理場等の地震対策計画策定の達成率を、100%とする。 処理場等の地震対策計画策定の達成率 下水道総合地震対策計画の策定	0%	100%	100%
3	処理場（管理汚泥棟）の耐震診断目標の達成率を、100%とする。 処理場（管理汚泥棟）の耐震診断目標の達成率 耐震診断済み施設数（1箇所） / 耐震診断予定施設数（1箇所）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	終末処理場	改築	湯河原町浄水センター改築更新事業	水処理設備、計装設備	湯河原町						559		策定済
		ストックマネジメント支援制度																	
	A07-002	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	終末処理場	改築	湯河原町浄水センター改築更新事業	監視制御設備、ITV設備	湯河原町						182		策定済
		ストックマネジメント支援制度																	
	A07-003	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	-	-	下水道総合地震対策計画策定	下水道総合地震対策計画の策定	湯河原町						19		-
		ストックマネジメント支援制度																	
	A07-004	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	終末処理場	-	湯河原町浄水センター耐震診断	耐震診断(管理汚泥棟)	湯河原町						48		-
		ストックマネジメント支援制度																	
											小計						808		
											合計						808		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	-	-	下水道BCP策定	下水道BCP策定	湯河原町						5	-	
基幹事業で実施する下水道総合地震対策計画の策定と合わせて下水道の業務継続計画（BCP）を策定することにより、災害時における減災・防災対策の向上を図る。																			
											小計						5		
											合計						5		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	23	81			
計画別流用増 減額 (b)	1	1			
交付額 (c=a+b)	22	80			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	22	4			
翌年度繰越額 (f)	0	76			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 湯河原町における安心・安全な下水道事業（防災・安全）

事前評価		チェック欄
I. 目標の妥当性	上位計画（湯河原町総合計画、湯河原町公共下水道全体計画）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	地域の課題への対応が目標に設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	定量的指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	十分な事業効果が期待される。	○
III. 計画の実現可能性	地元の機運 1) 下水道整備に対して住民の理解及び協力が得られている。	○
III. 計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境 3) 計画内容に関し、近隣住民に対して事前説明が行われ理解を得ている。	○

湯河原町公共下水道

全体計画 (567ha)
事業計画 523ha

令和5年度湯河原町公共下水道事業
箇所図
(防災・安全交付金)
令和5年4月

